

Princeton

# FM/AMラジオ搭載目覚まし機能付きスピーカー for iPod PSP-MSSBCシリーズ



## ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。  
 ご使用の際は、必ず以下の記載事項をお守りください。  
 ・ご使用前に、必ず「安全上のご注意」「製品保証規定」をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。  
 ・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。  
 ・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。  
 ・iPod/iPod mini/iPod nano は、Apple 社の登録商標です。

**注意** 本製品を小さいお子様の手の届く場所に設置しないでください。  
 本製品を、本書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

### 本書について

本文中で特に明記しない場合を除き、『iPod』は「対応iPod機種」に記載のiPodを意味します。

## ユーザー登録について

弊社ホームページにて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」

<http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html>

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。  
 ※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

## 同梱品

本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。  
 お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

スピーカー	1	3.5mmステレオミニプラグケーブル	1
Dockアダプタ	6	FMラジオ用アンテナケーブル	1
ACアダプタ	1	ユーザーズガイド(本書)	1
リモートコントローラ	1	保証書	1
リモートコントローラ用コイン型リチウム電池	1		

## 仕様

### スピーカー

スピーカーユニット	直径 32mm、防磁型
再生周波数帯域	220Hz~20,000Hz
インピーダンス	6Ω
実用最大出力	6W (3W+3W)

### サブウーファ

スピーカーユニット	直径63mm、防磁型
再生周波数帯域	35Hz-220Hz
インピーダンス	8Ω
実用最大出力	8W

### ラジオ

受信周波数範囲	FM 76.0MHz~90.0MHz (0.1MHzステップ)
	AM 522kHz~1629kHz (9kHz ステップ)

### パワーアンプ

最大出力	14W
スピーカー/サブウーファ	3W×2/8W
歪み率	0.3%以下
S/N比	65dB以上

### 入力端子

入力端子	3.5mmステレオミニジャック×1
	アンテナジャック×1
電源	DC 12V 1200mA
外形寸法	W180 x D170 x H61mm (突起物含まず)
質量	738g

### リモートコントローラ基本仕様

送信方式	赤外線方式
使用範囲	6m以内 ※使用環境により異なります。

### リモートコントローラ

外形寸法	W40×D100×H7mm
質量	21g (電池含む)

## 特長

### ■スピーカー

- Made for iPod取得モデル
- FM/AMラジオ搭載
- 目覚まし時計機能付き
- iPodを直接接続<sup>※1</sup>。USBケーブルでPCと接続すれば、iPodとのデータリンクが可能
- USBケーブルまたは付属のACアダプタを接続すれば、iPodの充電が可能
- Universal Dock対応
- トータル出力14Wのパワーアンプ内蔵の2.1chスピーカー
- 豊かな低音を再生するサブウーファ標準装備
- ステレオミニジャックでMP3プレーヤーやCDプレーヤーとも接続可能

### ■リモートコントローラ

- コンパクトで軽量
- 最大6m<sup>※2</sup>離れた場所から操作可能

※1: iPod nano、iPod 5Gを使用する場合、各iPod付属(専用)の「Universal Dockアダプタ」が必要で、※2: 使用環境により使用できない場合があります。

## 対応iPod機種

2nd iPod touch/4th iPod nano/iPod touch/3rd iPod nano/iPod classic/  
 2nd iPod nano/iPod 5G/1st iPod nano/iPod 4G with color display/iPod 4G/iPod mini

## 安全上のご注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。  
 本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

<b>警告</b>	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
<b>注意</b>	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。
<b>図記号の意味</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意を促す記号 (△の中に警告内容が描かれています。)</li> <li>行為を禁止する記号 (○の中や近くに禁止内容が描かれています。)</li> <li>行為を指示する記号 (●の中に指示内容が描かれています。)</li> </ul>

## 警告

小さいお子様の手の届くところに、本製品を放置しないでください。

- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったら販売店に修理を依頼してください。
- 同梱品以外の電源コードは使用しないでください。火災の原因となります。必ず本製品同梱の電源コードを使用してください。また、ご使用の際はAC100Vのコンセントに接続してください。指定以外の電源で使用した場合、火災の原因となります。
- 付属の電源コードは、本製品以外の用途には絶対に使用しないでください。
- 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、まず最初に本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないでください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。
- 雷鳴が聞こえたら、ACアダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属のACアダプタ(AC100V)以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。
- 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリーなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
- 本製品の裏ぶた、カバー、キャビネットは絶対にはずさないでください。内部には高電圧の箇所があり、感電の原因になります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、破損の原因になります。
- スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱を起し、火災の原因になります。
- 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災の原因になります。
- 本製品を設置する場合、壁から10cm以上離して設置してください。また、効率的に放熱するために、他の機器とは離して設置してください。ラックなどに設置する場合は、本製品の天面から2cm以上、背面から5cm以上の隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因になります。
- 電源ケーブルが損傷(芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など)した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
- オーディオケーブルの上に重いものを載せたり、ケーブルを本製品の下敷きにしたりしないでください。また、壁や棚などの間に挟み込まないでください。オーディオケーブルが損傷し、火災の原因になります。
- オーディオケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
- オーディオケーブルを人が通るところなどひっきりやすういところに這わせしないでください。踏いて転倒したり、スピーカーが落下し、怪我や事故の原因になります。

## 注意

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たるところなど異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所におかないでください。また、設置場所の強度は、重みに耐えられるものにしてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 高いところに設置する場合は、不意な衝撃があっても落下しないよう固定してください。固定しないまま使用すると、落下し、怪我や事故の原因になります。また、高いところへの設置作業は、足元が不安定になりますので、十分注意してください。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからACアダプタを抜けるようにしてください。
- 長期間本製品を使用しない場合は、安全のために必ずコンセントからACアダプタを抜いてください。
- お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- ACアダプタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず必ずACアダプタをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 定格をこえる入力を入れた状態や、長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
- お子様がおもちゃに手触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

## 各部の名称と主な機能

### スピーカーについて

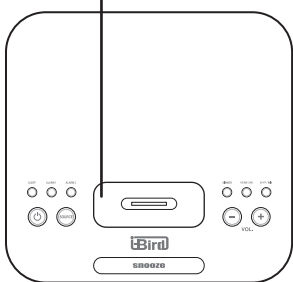
**サブウーファについて**  
 スピーカー底面の丸い開口部にはドライバユニットといわれる精密機器が実装されています。この部分は大変デリケートな部品で構成されており、絶対に直接手を触れないようにしてください。

### 防磁について

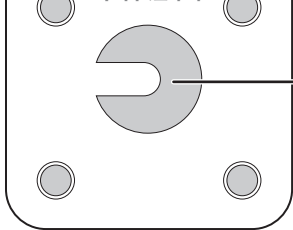
本製品は防磁対応製品ですが、ディスプレイの近くで長時間使用した場合、帯磁によって画面に異常が発生することがあります。自動消磁機能付きのディスプレイもありますが、そうでないものは手動で消磁する必要があります。消磁の方法につきましてはディスプレイの取扱説明書をご確認ください。

### Dockコネクタ

本製品およびiPod付属のDockアダプタを取り付けて、iPodを接続します。

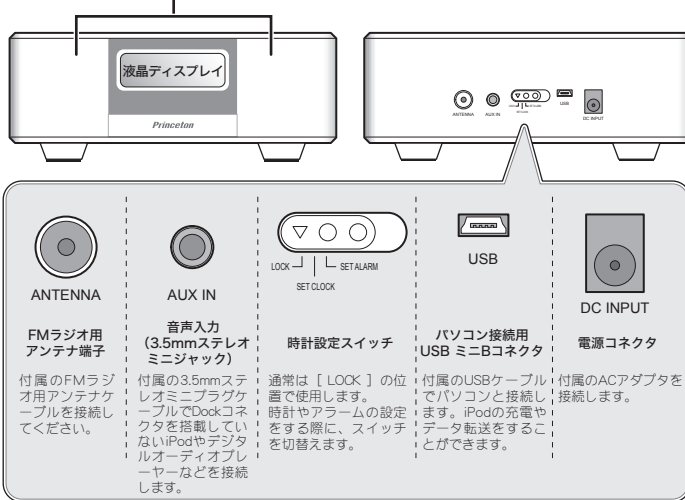


### 本体底面



### サブウーファ

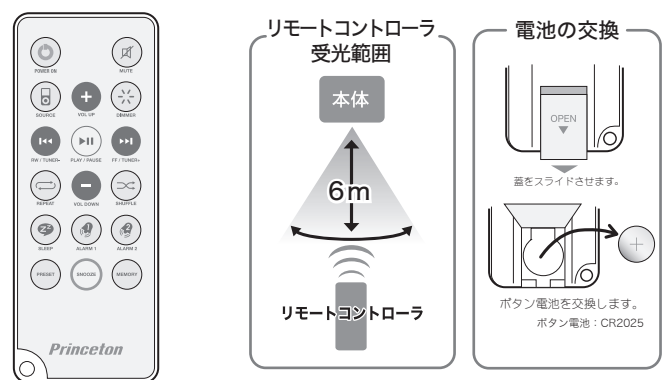
### スピーカー



### 液晶ディスプレイ



### リモートコントローラ



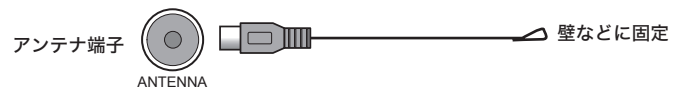
## ACアダプタの接続



**注意** 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。故障の原因になります。ACアダプタを抜くと、各種設定がリセットされます。

## FMラジオ用アンテナケーブルの接続

FMラジオを聞く前に、付属のFMラジオ用アンテナケーブルを接続してください。



### HINT FMラジオを最良の状態を受信するには?

- ・FMラジオ用アンテナケーブルを一杯に伸ばしてください。
- ・FMラジオ用アンテナの向きを変えてみてください。

※受信環境によってすべての受信局が受信できるとは限りません。



本体	リモコン	<b>本体/リモートコントローラの操作</b>
		<b>電源ボタン</b> 電源のオン/オフに使用します。
		<b>ミュート</b> 押すごとに、音声の消音/再生を切替えます。
		<b>ソースボタン</b> 押すごとに、入力ソースを切替えます。 設定値: [外部入力]→[アラーム※]→[iPod]→[ラジオFM]→[ラジオAM] ※アラーム設定時のみアラーム音を選択できます
		<b>バックライト</b> 押すごとに、本体の液晶ディスプレイの明るさ(8段階)を切替えます。
		<b>再生/一時停止 (iPod選択時のみ)</b> 押すごとに、曲の再生/一時停止を切替えます。 長押しすることでiPodの電源をOFFにすることも可能です。
		<b>曲スキップ/周波数設定/時間設定</b>
		<b>iPod選択時</b> 1回押し: 曲の先頭(終わり)/前(次)の曲にスキップします。 長押し: 押している間、曲を逆(早)再生します。
		<b>ラジオ選択時</b> 1回押し: 周波数を1つ上げ(下げ)ます。 長押し: オートスキャン機能 現在の周波数から、一番近い受信チャンネルを自動的に選局します。
		<b>アラーム設定時</b> 1回押し: 時間(分)を1つ進めます。 <b>時計設定時</b> 長押し: 時間(分)を早く進めます。
		<b>ボリューム</b> +: 音量を大きくします。 -: 音量を小さくします。
		<b>リピート (iPod選択時のみ)</b> 押すごとに、リピートモードを切替えます。
		<b>シャッフル (iPod選択時のみ)</b> 押すごとに、シャッフルモードを切替えます。
		<b>スリープ</b> 押すごとに、スリープモードの設定時間を切替えます。 設定値: 90分→75分→60分→45分→30分→15分→0分
		<b>アラーム</b> 1回押し: アラーム設定時間を液晶ディスプレイに表示します。 長押し: アラームのON/OFFを切替えます。
		<b>アラーム設定時</b> 長押し: アラームのON/OFFおよび設定するアラームを切替えます。
		<b>プリセット (ラジオ選択時のみ)</b> 押すごとに、プリセットされている周波数を切替えます。
		<b>メモリー (ラジオ選択時のみ)</b> ボタンを押し続けるとプリセット登録画面を起動します。
		<b>スヌーズ (アラーム起動時のみ)</b> アラームの音声を一時的にストップして、5分後に再度アラームが起動します。

## 時刻の設定

**時刻設定は必ず電源がOFFの状態で行ってください。電源がONの状態では設定できません。**

- 電源がOFFの状態、時計設定ボタンを [ SET CLOCK ] に合わせます。
- 時刻が点滅している状態で、時刻設定ボタンを押して、現在の時間に設定します。
- 設定が完了したら、時計設定ボタンを [ LOCK ] に合わせます。

**注意**  
時刻設定後にACアダプタを抜くと、時刻がリセット (12:00PM) されます。

## iPodを接続する

接続するiPodに対応したDockアダプタを取り付けます。取り付けの際は、Dockアダプタのツメの向きに注意しながら取り付けます。

**アダプタの交換方法**  
Dockアダプタのスロットを指の爪などで引っ掛けて取り外します。

**HINT**  
iPodを接続すると、自動的にiPodの電源がONになります。

**Dockアダプタについて**

アダプタ番号 / iPod対応機種	対応するiPodの種類
③ iPod mini	「U1」アダプタ
④ クリックホイールを搭載した iPod (20GB/30GB/A2 Special Edition)	Universal用のU4アダプタ
⑤ クリックホイールを搭載した iPod (40GB)	U5アダプタ
⑥ カラーディスプレイを搭載した iPod (20GB/30GB/U2 Special Edition)	その他のオーディオ機器を接続の際にご利用ください。コネクタ部をホコリなどから保護することができます。
⑦ カラーディスプレイを搭載した iPod (40GB/60GB)	

iPod付属のDockアダプタも使用可能です。

**1st iPod nano以降のiPodを使用する際のご注意**  
本製品には1st iPod nano以降のDockアダプタは付属していません。これらのiPodを使用する際は、各iPodに付属しているDockアダプタをご利用ください。

**注意**  
スピーカーにiPodを接続したまま、持ち運んだりむやみに動かさないでください。iPodの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。iPodを操作する場合は、必ずiPodの上部を手で押さえた状態で操作してください。上部を押さえずに操作すると、iPodの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。

## iPodの音楽を聴く

- 電源をONにします。
- ソースを [ iPod ] に切替えます。  
液晶ディスプレイにiPodのアイコンが表示されるまで [ ソース ] ボタンを数回押します。
- リモコンの再生ボタンを押します。

**HINT**  
iPodを使用する場合、iPodの音量設定は無効になり、本体の音量調整により再生されます。コンセントからACアダプタを抜くと、音量設定がリセットされて次回使用する際には、出荷時の音量で再生されます。  
iPod選択時にiPodをDockから取り外すと、スピーカーの電源が自動的にOFFになります。iPodをDockに接続した状態でAM/FMなどのソースを切り替えると、iPodは充電状態になります。

## iPodを充電する

本製品のDockコネクタを使用して、iPodを充電することができます。本体の電源がOFFでも、本体のDockコネクタにiPodを接続すると充電を開始します。充電を行う場合は、必ず下記のいずれかの方法で本体を接続してください。

- 本製品付属のACアダプタを接続
- USBケーブルでパソコンと接続 (パソコンの電源がON)

**注意**  
Dockコネクタを装備していないiPodは充電できません。一部のパソコンでは、USBポートからiPodの充電に十分な電圧が供給されないなどの理由で、iPod付属のiPod DockコネクタケーブルでDockと接続しても、iPodの充電が行えない場合があります。充電が行えない場合は、付属のACアダプタを接続してください。

## iPodに音楽を転送する

本製品のUSBコネクタを使用して、パソコンからiPodに音楽を転送することができます。音楽の転送を行う場合は、付属のUSBケーブルでパソコンと本体を接続してください。また、パソコンに下記のソフトウェアがインストールされているが確認してください。インストールされていない場合は、iPodのスタートアップガイドに従って、ソフトウェアをインストールしてください。

- iPodのソフトウェア
- iTunes

**音楽の転送手順**  
**注意**  
音楽の転送手順の詳細や設定については、iPodのスタートアップガイドまたは「iTunes」のマニュアルを参照してください。

## Dockコネクタを装備していないiPodや他の再生機器を接続する場合

付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルを使用して、旧iPod (Dockコネクタを装備していない1st iPod nano以前のiPod) や他のオーディオ機器 (MP3・MD・CDプレーヤー等)、ノートブックパソコン、デスクトップパソコン等と接続し、外部スピーカーとしても使用可能です。

**注意**  
iPodを3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続した場合、充電やデータ転送機能は使用できません。

ソースを [ AUX ] に切替えます。  
液晶ディスプレイにAUXのアイコンが表示されるまで [ ソース ] ボタンを押します。

## ラジオを聴く

- 電源をONにします。
- ソースを [ ラジオ ] に切替えます。  
液晶ディスプレイにラジオのアイコンが表示されるまで [ ソース ] ボタンを数回押します。
- 周波数設定ボタンで周波数を調整します。  
**HINT**  
オートスキャン機能  
ボタンを長押しすると、自動的に受信可能なチャンネルを選局します。

## 周波数の登録 (プリセット)

- 登録する周波数に合わせます。
- リモコンのメモリーボタンを押します。  
液晶ディスプレイにプリセット番号が点滅します。
- プリセットボタンを押して登録するプリセット番号を選びます。
- 再度メモリーボタンを押します。  
プリセット完了です。

**HINT**  
FM10局とAM10局をプリセット可能です。

## プリセットしたチャンネルを聴く

- ソースを [ ラジオ ] に切替えます。
- プリセットボタンを押してプリセット番号を選びます。  
プリセット番号を選択

**既にプリセットされているチャンネルを変更する場合**  
[ 新たに登録したいチャンネルを選局 ] → [ メモリーボタンを押す ] → [ プリセット番号が点滅したら、プリセットボタンで変更するプリセット番号を選ぶ ] → [ 再度メモリーボタンを押す ]

## アラームを設定する

**アラーム時刻設定は必ず電源がOFFの状態で行ってください。電源がONの状態では設定できません。**

- 電源がOFFの状態、時計設定スイッチを [ SET ALARM ] に合わせます。
- アラーム1が点灯します。  
アラーム1にアラームを設定をします。
- アラーム2に設定する場合  
アラーム2の設定をする場合は、アラーム2ボタンを長押しします。液晶ディスプレイにアラーム2が点滅します。再度アラーム1を設定する場合は、アラーム1ボタンを長押しします。

**注意**  
一度 [ SET ALARM ] に切替えて、何も設定せずに [ LOCK ] に戻してもアラーム1が設定されます。

- 時刻が点滅している状態で、時刻設定ボタンを押して、アラーム時刻を設定します。
- ソースボタンを押して、設定時間に鳴らす音(ソース)を選択します。  
アラーム設定時のみ選択できます。「ビビビ」と鳴るアラーム音で、段階的に大きくなります。アラーム1と2で音が変わります。アラーム1: "ビビビビ" アラーム2: "ビビビビ"

アラームに (iPod) を設定している場合、iPodで選択されているアルバムやプレイリストをiPodのリピート設定に応じて再生します。ラジオは、最後に聞いていたラジオ局を再生します。DockにiPodが接続されていない場合やiPodに音楽が入っていない場合は、自動的に (ブザーアラーム) に切り替わります。

- ボリュームボタンを押して、設定時間に鳴らす音量を調節します。(初期設定は音量8です)
- 設定が完了したら、時計設定スイッチを [ LOCK ] に合わせます。
- 液晶ディスプレイにアラームアイコンが表示され、アラームが設定されます。  
**アラームを解除する場合**  
設定しているアラームボタンを長押しすると、液晶ディスプレイのアラームアイコンが消灯して、アラーム設定が解除されます。  
**アラーム時間を確認する場合**  
アラーム1 (またはアラーム2) の設定時間を確認する場合は、アラーム1 (またはアラーム2) ボタンを1回押しすると、液晶ディスプレイに設定時間が表示され、2秒後に元の画面に戻ります。

**アラームが鳴ったら**  
アラームが鳴った状態で放置すると、1時間後に自動的に止まります。  
ボタンを押すと、アラームは止まります。  
ボタンを押すと、一度アラームが止まり5分後に再び鳴ります。1時間以内は、5分間隔でアラームが鳴ります。

## スリープを設定する

押すごとに、スリープモードの設定時間を切替えます。  
設定値: 90分→75分→60分→45分→30分→15分→0分  
スリープ設定後、自動的に現在時刻表示に戻ります。再度スリープボタンを1回押すと、スリープに入るまでの残り時間が表示され、自動的に現在時刻表示に戻ります。

## 最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。  
**URL** <http://www.princeton.co.jp/>

**プリンストンテクノロジー株式会社**  
本製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。本製品の著作権はプリンストンテクノロジーにあります。本製品の一部または全部を無断で使用、複製、転載することを断じます。本製品に侵害されている場合は、製品名を明記し、お名前と住所を明記してご連絡ください。本製品ではTMは明記していません。本製品の名称またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。  
Copyright ©2009 Princeton Technology Ltd. 2009年2月現在